

## フィリピン大学トップ4校

	学校名	所在地	規模	ホームページ	特徴
1	フィリピン大学ディリマン校 (University of the Philippines)	ケンソ州	学生総数:47,531	<a href="https://upd.edu.ph/">https://upd.edu.ph/</a>	<p>University of the Philippines, Diliman (UP、フィリピン大学ディリマン校) は、フィリピンの国立大学の中ではトップ、日本で言うと東京大学にあたる存在である。国内に11のキャンパスがあり、ディリマン校はその中で、最も大きな規模であり、法学、社会科学、工学、音楽、建築、芸術などの分野で有名である。学術領域は4つのクラスタ(芸術・文学、経営・経済、科学・技術、社会科学・法学)に分類され、そのうちの科学・技術クラスタは考古学プログラム、建築学部、工学部、家政学部、理学部、図書館情報学部、統計学部により構成される。工学部は化学工学専攻、測地工学専攻、機械工学専攻、コンピュータ科学専攻、産業工学・オペレーションズ・リサーチ学専攻、鉱山学・冶金学・材料工学専攻、電気・電子工学研究科、及び土木工学研究科を擁し、学部及び大学院プログラムを提供している。理学部は生物学専攻、化学専攻、環境科学専攻、地学専攻、数学専攻、meteorology専攻、分子生物学・生物工学専攻、海洋化学専攻、物質科学・工学専攻、及び物理学専攻を擁し、学部及び大学院プログラムを提供している。建築学部は建築学専攻及び熱帯landscape architecture専攻を擁し、学部及び大学院プログラム(修士のみ)を提供している。工学、環境科学など充実しており、科学技術省の実施している航空機を用いた河川流域の精密計測などの国家事業を行う等、リモートセンシングのフィリピンにおける中心的機関のひとつである。現在DOSTが進めているフィリピンの宇宙開発計画では、ASTIと共に衛星及び地上施設の開発を担当する。ディリマン校は本部校として学部生約27千人、院生約19千人、教員約1500人と最大規模である。</p> <p>ディリマン校図書館は、中央図書館及び40以上の学部図書館・室、職員数120人以上、うち司書80人で構成される。蔵書数は図書118万冊以上、雑誌18千タイトル。フィリピン大学の学内図書館機構中枢を管理運営する。ディリマン校は環境科学・気象学研究所を有する。測地工学科では測地にかかわる研究教育とともに測地技術の訓練も行っている、基準局網の一部を担い、協力的である。QZSSのサービスエリア内になるのでさらに緊密な連携の推進が望まれるフィリピン大学国立物理学研究所(NIP)は、フィリピン大学ディリマン校物理学科の学位所得研究機関。NIPは、物理学、応用物理学、材料工学の学部・大学院プログラムを提供し、計装物理学、凝縮物物理学、フォトリソグラフィ、ナノテクノロジー、理論物理学の研究ラボを提供している。1999年以来、479の学士課程、226の修士課程、60の博士課程卒業生を、毎年約37の学術出版物と共に輩出している。NIPはフィリピンにおける物理学教育及び研究の最高の機関として賞賛されている。</p>
1	フィリピン大学ビサヤ校 (University of the Philippines Visayas)	イロイロ州	学生総数:3,299	<a href="https://www.upv.edu.ph/">https://www.upv.edu.ph/</a>	<p>1979年に4大学がフィリピン大学の分校システムとして統合され設立された国立総合大学でイロイロ、セブ、タクロバンの地域の高等教育を担っている。イロイロ市ミアガオにあるメインキャンパスは前身が水産大学であり、養殖学や海洋学などの充実した4つの学科を擁し、フィリピンの水産・海洋の高等教育機関として機能している。教員数は約350名、ビサヤ校はとくに水産分野では充実した研究教育体制が整っている。</p> <p>U.P.Manilaは、1908年にフィリピンの首都であるマニラに設立された。医学部はフィリピンで最初の医療教育機関である。</p>
1	フィリピン大学マニラ校 (University of the Philippines Manila)	メトロ・マニラ	学生総数:60,889	<a href="https://up.edu.ph/">https://up.edu.ph/</a>	<p>フィリピン大学マニラ校 (UPM) は、1908年に設立されたフィリピン共和国最古の国立大学であり、医学系学部を要する高等教育・研究大学群であり、医学部、歯学部、薬学部、看護学部、公衆衛生学部、健康科学部、教養学部、医療系従事者教育に関する国立センターで教育を行っている。</p> <p>同国最大の国立病院であるフィリピン総合病院を擁する、医療人材輩出の拠点となっている。中でも医学部は1905年に設立し、フィリピン大学の学部の中でも最古の学部である。2001年に大統領府高等教育委員会はフィリピン大学医学部を研究・開発拠点機関の最高学府として認定した。看護学部 (College of Nursing) は1948年に設置され、修士課程及び博士課程も有す。設立以来看護国家試験合格率100%を保ち続け、フィリピン国内外で活躍する優秀な看護師を輩出している。また、国際連携に力を入れており、世界各国の教育機関と幅広い協力関係を構築し、1989年からプライマリ・ヘルス・ケアにおける看護師育成面における世界保健機関提携センター (WHO-Collaborating Center) として位置付けられている。なお、フィリピン大学は、アジアの大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム」のメンバー校であり、その事務局をつとめる本学とは、以前より研究交流、人物交流を続けている。マニラ校は1500床の総合病院を有し、感染症の基礎研究においてはフィリピンの中心的な役割を果たす大学である。国際医療センターとはマラリアに関する研究を共同で行っている。看護学部は1948年に設立され、現在学部生、修士学生、博士学生の計350名程度が学んでいる。看護学生の看護師国家試験合格率は、設立以来100%と優秀な学生を輩出している。フィリピン大学卒業の看護師は、米国や英国などでも活躍している。治学、社会科学、公衆衛生、自然科学、農学、人文科学の高等教育を提供している。</p> <p>学生数53,000名、教職員数4,000名 (いずれも2007年4月現在) 黒潮圏科学国際シンポジウム参加校であり、黒潮圏科学の中心をなす大学の一つである。公衆衛生公は国内の公衆衛生の中核教育研究機関であるだけでなく、東南アジア教育大臣機構 (SEAMEO) の公衆衛生部門の中核機関として認定されており、公衆衛生・保健学を担う人材育成を行っている。地質科学研究所は、フィリピンの大学のうち最大の地球科学研究・教育機関で、同様の機関のうち最大の学生数を擁する。海洋研究所は1974年に設置された、海洋研究に関する基幹的学術研究施設である。海洋生物学、海洋化学、物理海洋学、海洋地質学等に関する研究、教育、普及活動を行っており、大学院修士・博士課程がある。</p>

1	フィリピン大学ロスバニョス校 (University of the Philippines Los Baños)	ラグナ州	学生総数:13,710	<a href="https://uplb.edu.ph/main/">https://uplb.edu.ph/main/</a>	<p>フィリピン大学ロスバニョス校は、マニラから南東に約64キロメートル離れた、ラグナ州のロスバニョスとベイの町に位置する公立研究大学。その起源は、1909年にフィリピンの農業教育と研究を促進するためにアメリカ植民地政府によって設立されたUP農業大学にさかのぼる。本学の獣医学部全国で一番古い研究・教育の面では国をリードするものである。</p> <p>ロスバニョス校は、フィリピン大学機構の中でも、農業とバイオ技術の分野で先端的な研究機関として国際的に高い評価を得ている。ロスバニョス校は1909年に開学した農学部を中心としたキャンパスであり、科学、工業、農業、林業、獣医学などの学部を持つ専任教員約5,400人、学生数約6万人を擁するフィリピン唯一の国立大学である。フィリピンNo.1の大学との評価を得ており、国の指導者等を多数輩出している。7つの分校から成るが、フィリピン大学ロスバニョス校 (UPLB) は、そのうちの一つで、1909年に農学部を中心として設立された。</p> <p>UPロスバニョス校の1つの学部である獣医学部は、国内初の獣医学部であり、基礎獣医学、臨床関連獣医学、臨床獣医学3つの部門によって構成され、国内において唯一獣医学修士の称号を授与している。</p>
2	アテネオデマニラ大学 (Ateneo de Manila University)	ゲソン州	学生総数:15,269	<a href="http://www.ateneo.edu/">http://www.ateneo.edu/</a>	<p>アテネオ・デ・マニラ大学は、フィリピン・ルソン島のメトロマニラ最大の都市ケンソン・シティに所在し、1859年に設立されたフィリピンでも有数のカトリック系私立大学である。文学から科学までに、そのうえに環境変化の研究を行っている。自国の教育貢献に先進国の研究手法及び情報交換に取り入れている。中高・専門校・大学・大学院の少数精鋭教育機関。政界のリーダーも多く輩出しているトップの私立大学である。(国内大学ランキング2位、2016年)</p> <p>幼稚園から大学院までを備えた同大学は、全体では約20,000人の児童・生徒を数え、学部・大学院で約12,000の学生が学んでいる。日本の大学とも積極的に協定を結んでおり、現在22の日本の大学と国際交流を行っている。学部は、人文、社会科学学部のほか、理工学部がある。同学部には、化学、生物、情報電子工学、情報システム及びコンピュータ科学の部門がある。理工学部の環境学科は、環境問題の専門家を養成することを目標に、社会科学から自然科学まで幅広い教育を行っている。</p> <p>リサーチ図書館は、学園の中央図書館として、蔵書数40万冊以上、雑誌5万冊を所蔵し、各種電子リソースを提供する。同図書館は、フィリピン史関連5つの特別コレクションを所蔵し、マイクロフィルムによる資料保存及びそのデジタルアーカイブを公開している。図書館職員数は61名、うち司書は20名。</p>
3	デラサール大学 (De La Salle University)	メトロ・マニラ	学生総数:16,704	<a href="https://www.dlsu.edu.ph/">https://www.dlsu.edu.ph/</a>	<p>フィリピン最高峰の私立大学の1つであり、国内初のキリスト教系学校としてマニラ旧市街に1911年に創設された。工学部、自然科学部、経営経済学部、コンピューター学部、教育学部、人文学部の学部からなる総合大学である。日本研究プログラムがあり、日本との繋がりが強い。理工系での評価が高く、財界にも多数人材を送り込んでいる。日本研究をはじめ、ヨーロッパ研究、アメリカ研究などの国際教養部門を有し、国際交流には積極的に取り組んでいる。また、国際人育成のために世界各国の大学と教授陣の交換留学も行うなど様々なプログラムを戦略的に進めている。16,000人以上の大学生と、4,000人を超える大学院生を有している。留学生数は約600人で、現地語と英語の習得が必要な留学生に対してはフォローアップや、現地の学生団体がフィリピン人学生と留学生の交流を促進している。フィリピンではトップ4に位置する。現在8学部設置され研究の質・卒業生の就業機会・国際的な視野とその授業内容によって、世界の教育機関のトップ300+に入るフィリピン最高峰の私立大学である。キリスト教の精神に基づいた平和的、調和的教育理念を持ち、総合的な人材育成を目標としており、教育だけでなく研究や社会貢献のためのフィリピンの高等教育ハブ機関としての機能を果たしている。</p> <p>JICAのSEED-Netプログラムにおいても、化学工学および機械・製造工学の2分野においてASEAN側のホスト大学として人材育成に協力している。</p> <p>リモートセンシンググループはアクティブとパッシブのリモートセンシングにより環境監視に関わる教育研究を行っている。</p>
4	聖トマス大学 (University of Santo Tomas)	メトロ・マニラ	学生総数:44,791	<a href="http://www.ust.edu.ph/">http://www.ust.edu.ph/</a>	<p>聖トマス大学は、マニラに本部を置くフィリピンの私立大学である。1611年に設置された。教職者の育成のためにカトリック大学として設立され、現存する大学の中ではアジア最古である。また、単一キャンパスの学生数においては世界最大のカトリック大学でもあり、ローマ教皇が3度訪れた唯一の大学でもある。工学部、自然科学部、経営経済学部、医学部、コンピューター学部、教育学部、人文学部の学部からなる総合大学である。</p>